

## 入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和5年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

### 記

開催日時 令和5年11月30日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

## 令和5年度第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

### 1 会議名

令和5年度第3回北九州市入札等監視委員会

### 2 開催日時

開催日時 令和5年11月30日(木) 14:00～15:30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

### 3 出席委員(五十音順)

古林 節子、田籠 亮博、樋上 弥寿子、森江 由美子

### 4 議事

#### (1) 令和5年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

#### (2) 令和5年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和5年度第2四半期に契約をした工事の中から、樋上委員が10件(契約課契約分8件、東部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による土木工事で、予定価格1億円未満であるが、総合評価を行った理由を知りたく抽出した。

(答) 河川の一般的な護岸工事であるが、潮位の影響を受けたり、人通りの多い住宅街を流れているため、重機の騒音対策や安全対策など配慮を必要とすることから、総合評価落札方式を採用した。

総合評価落札方式を採用するかどうかについては、案件ごとに特殊な配慮や技術、従事者の安全の考慮など、価格だけでなく、業者の努力内容を評価することが必要かどうかを別途審査し決定している。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、予定価格約2億円のうち、足場の費用がどれくらいの割合を占めるのか知りたく抽出した。

(答) 建物の経年劣化や漏水によるモルタル片落下に対する外壁工事である。場所が市街地にあり、保育園や急患センターが併設されていて、安全対策に配慮が必要であることから、総合評価落札方式を採用した。今回の工事の足場の費用は工事全体の費用の約20%程度を占めている。

(問) 一般競争入札による土木工事で、参加業者数が多いため入札内容を知りたく抽出した。

(答) JRの駅周辺土地の宅地整備事業に伴う工事である。金額が1億円を超える規模で、特殊な技術を必要としない一般的な土木工事であるため、多くの業者が参加した。参加申込業者44者のうち、4者が辞退や不参加、40者が応札した。最低制限価格を下回った14者が失格となり、最低制限価格を上回り、一番低い価格の業者が落札業者となった。

(問) 一般競争入札による建築工事で、一般的な工事であるが応札者数が1者のため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 市所有の福祉施設の外壁及び屋上防水工事である。7階建ての高層住宅で、住宅街にあり足場の確保が困難であることや、入居者への配慮が必要といったことから参加業者が少なかったと考えられる。参加申込業者は1者であり、最低制限価格を上回っていたため落札した。

(問) 指名競争入札による管工事で、指名業者数が多いため、入札内容を知りたく抽出した。

(答) 学校の大規模改修工事の中の管工事である。先に一般競争入札を実施し、参加業者全てが最低制限価格を下回り不調となった案件である。大規模改修工事の他工事は既に業者が決定しており、学校の長期休暇との兼合いもあり、他の工事に影響が出ないようにするため、開札までの期間が短い指名競争入札により、再入札を行った。市内管工事Aランク業者48者を指名し、応札したのは6者であった。2者が最低制限価格を下回り失格となり、最低制限価格を上回り、一番低い価格の業者が落札業者となった。

(問) 指名競争入札による防水工事で、学校以外の防水工事が5件あるが、同じ時期に調達することにより事務に支障がないか知りたく抽出した。

(答) 市所有施設では外壁の落下事故を受けて、全施設の点検を行い、緊急対応が必要な工事から順次工事を行っているところである。屋上防水及び外壁改修工事が多く発注されているが、登録業者も多いため、現在のところ工事に大きな支障が出たり、計画の見直しが必要ということには至っていない。しかしながら、最近では参加業者数が減少傾向にあり、市としても適正な施工を目指し、配慮しながら対応している。

(問) 随意契約による機械器具工事で、特命で金額が高額なため、予定価格は適切であるかを知りたく抽出した。

(答) ごみ焼却施設の修繕工事である。特殊な設備であり、製造メーカーの系列会社でないと性能が担保できないため特命となった。予定価格の作成にあたっては、部品代や技術面などメーカーでないと分からない部分は見積を取った上で基礎額を算出し、それ以外の監督費や調整費などは市の積算要領を用いて算出し、それらを合算して予定価格を決定している。

(問) 随意契約による機械器具工事で、特命で金額が高額なため、予定価格は適切であるかを知りたく抽出した。

(答) JR駅の複数箇所、全部で18基の昇降機修繕工事である。既設昇降機の主要な部分の部品交換等を行うため、製造メーカーでないと実施できないことから特命となった。部品代等は製造メーカーから見積を取り、その他は積算要領を基に算出し、予定価格を決定している。

(問) 指名競争入札による舗装工事で、指名業者数が多いため、指名理由を知りたく抽出した。

(答) 道路の経年劣化したアスファルトを張替える舗装工事である。工事の金額や難易度に応じて指名業者を選定しており、今回は舗装第1希望の東部ABランク業者と該当する区の業者で舗装第2希望のAランク及びBランク業者の一部を合わせて、26者の指名となった。

(問) 指名競争入札による造園工事で、指名業者数が他の造園工事より少ないため、指名理由を知りたく抽出した。

(答) 公園内を流れる小川や池に架かる橋が老朽化しているため、架替えを行う工事である。造園工事の場合、区などの地域ごとにグループを分けて指名を行っている。今回は金額が1,000万円未満であったため、該当する地域のBCランク業者を対象とした。